

東海理化旗・ゼット杯争奪 第13回ボーイズリーグ選抜愛知県東大会規定

1. 1チームの登録選手は11名以上25名以内とする。但し、ベンチ入り登録選手は20名までとし、当日の登録選手変更を認める。
2. 出場選手はその大会の登録日の締め切り日現在、連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は、選手、指導者とも2017年度発行のものとする。
4. ベンチ入りは、チーム責任者（代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者）登録された監督・コーチ・マネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、監督・コーチが審査証を携帯していない場合、選手が携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチに入れないが、監督・コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査のうえベンチ入り出来る。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、その時点でベンチ入りを認める。（マネージャーの登録証携帯の有無は問わない）なお、万一、チーム責任者が不在の場合は試合が出来ない。
5. 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。また、チーム責任者・監督・コーチは、登録証を携帯すること。
6. 監督（背番号60）・コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
7. 試合開始時刻60分前に試合場に到着し、所定の審査を受け、直ちにオーダー表を5部審判部に提出しなければならない。
8. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻・後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
10. 試合方式など
 - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は開始から2時間を超えた場合、新しいイニングには入らない。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 4.11 (d)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2) 4回終了時10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。但し、1回戦に限り7回終了時点で同点の場合は、1イニングのみタイブレーク方式を実施する。それでも決着のつかない場合は、抽選とする。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
11.
 - (1) 投手は同一日に7回を超えて投球することができない。
 - (2) 投手と捕手については、日本中学硬式野球協議会制定の「H28年中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」を適用する。
12.
 - (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。（選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。）
 - (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。
13. 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備

位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。

14. 監督、コーチおよび選手は、審判のジャッジに対して、絶対に服従し、抗議することを厳禁する。ただし、規則上の疑義申し出については、監督または問題の当事者のみが審判に説明を求めることができる。この場合「3分以内」に規制する。
15. 監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
16. 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
17. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
18. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
19. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2組を備えること。
20. ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
21. 捕手は、必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 22.グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
23. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
24. 光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
25. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。ただし、大会初日については、時間の都合上、シートノックは行わない事とする。
26. 注意事項
 - (1) 攻守交代は全力疾走すること。
 - (2) ホームベースのラフプレーは禁止する。
 - (3) 投手の投球について、コース、球種を教える行為（いわゆるサインを盗む）は絶対にしないこと。
27. その他は(財)日本少年野球連盟（ボーイズリーグ）大会規定に準ずる。